



▲西ノ浜クリーンアップ活動の様子



▲子どもたちに大人気!!うしのけ山の落ち葉スキー

地域の話題

亀山校区

うるおいあふれる地域づくり

「心やすらぐ 緑ゆたかな 美しい地域 亀山」
地域の自然環境を大事に育てる、亀山校区コミュニティ協議会から「自然保護活動」についてお便りが届きました。



田 原市の西端に位置する亀山校区。伊勢湾に面し広大な農地が広がる自然豊かなところ。地域の自然を守るため、人と人のつながりを大事にしながら環境保全に努めています。

西ノ浜クリーンアップ活動

伊勢湾に面した「西ノ浜海岸」。渥美半島の観光のメッカとなるように「中山校区」「環境ボランティアサークル亀の子隊」と協働し清掃活動を実施しています。

西ノ浜には、伊勢湾・三河湾の海流に乗って多くのごみが海岸に打ち上げられます。ごみを放置すれば「海岸が駄目になってしまう」と危機感を持ち、以前から清掃活動をしていた「環境ボランティアサークル亀の子隊」

の活動に参加する形で始めて、はや7年が経過しました。昨年は校区から80名以上が参加し、440kgのごみを回収することができました。今後もこの活動を続け、地域にとって大切な海岸の保全に努めます。

うしのけ山保全

亀山校区には、地域のシンボルであり住民の憩いの場となっている里山「うしのけ山」があります。冬には、子どもたちが楽しみにしている「落ち葉スキー」が出来るように、地域の有志で結成された「うしのけ山を守る会」が環境保全活動をしています。



3月には小学校を卒業する子どもたちと一緒に、桜や栗の苗を植樹し、この山が子どもたちにとって思い出の山になるように努めています。



また、憩いの場所だけでなく、地域にとっても重要な場所にもなっています。今後、発生が懸念される巨大地震による津波から地域住民が身をを守るための一時避難場所となっているため、地域として十分な整備を進める必要があります。

校区の未来に向けて

亀山校区は約340世帯、人口も約1200人と決して大きな校区ではありません。農業後継者不足や少子化などの多くの課題も抱えています。校区住民の連帯感は強く、まとまった地域性もあります。

個性ある地域の資源を大事にしなが、将来像の実現に向けて校区を盛り上げていきたいと思ひます。